旧海軍司令部壕（海軍壕公園）

駐車場 100 台収容可能
・観光バスなどの大型スペース１０台
・身体障害者用スペース８台

記念スタンプ

アクセス

車・タクシー

那覇空港より15分

公共交通

バス・・・
旭橋（那覇バスターミナル向かい）より55・88・98系統で「宇栄原団地前」バス停下車徒歩5分

ゆいレール・・・
奥武山公園駅で下車後「小禄入口」バス停より55・88・98系統で「宇栄原団地前」バス停下車徒歩5分

◆◆旧海軍司令部壕参観料◆◆

	個人	団体	音声付
大人	600 円	400 円	1,000 円
小人	300 円	200 円	700 円

※大人（高校生以上）　※小人（小学生～中学生）

開館時間（年中無休）
9:00～17:00
（最終受付 16：30）

施設紹介動画　公式 Twitter　パンフレット

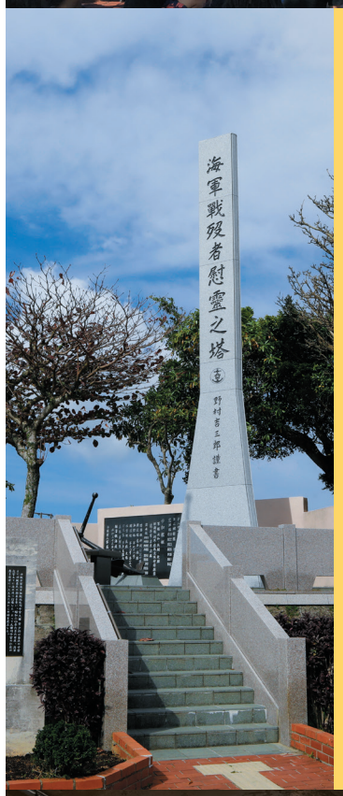
一般財団法人
沖縄観光コンベンションビューロー

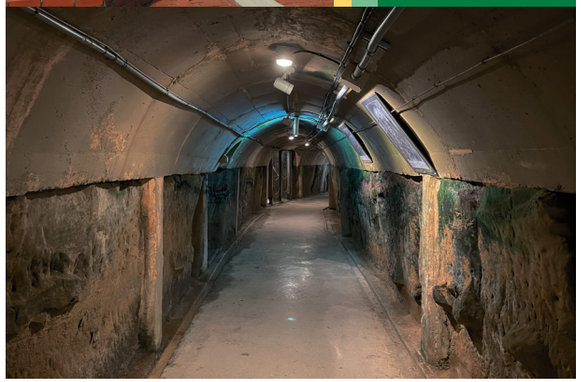
お問い合わせ

旧海軍司令部壕事業所

〒901-0241　沖縄県豊見城市字豊見城 236 番地
TEL　（098）850-4055
FAX　（098）850-9342
URL　https://kaigungou.ocvb.or.jp

公式 HP





「戦争」と「平和」が織りなす戦跡地

旧海軍司令部壕

遊んで楽しむ！　見て学ぶ！

那覇市の南西、豊見城の小高い丘にある海軍壕公園は、東シナ海、那覇市街、首里城が展望できる絶景です。

第二次世界大戦中末期には日本海軍の司令部壕が置かれ、激しい戦場となりました。現在では世界に平和を発信する戦跡公園として、地域の方たちの交流や憩いの場として広く親しまれています。

海軍壕公園 ガイドマップ

平和を願ったメッセージリーフコーナーもあります！

緑の森ゾーン

傾斜の続く緑豊かな広場です。休憩施設があり、北遊び広場にはブランコなどの遊具が設置されています。

慰霊の塔

昭和33年、沖縄海友会ならびに海軍戦没者慰霊之塔建立発起人会によって建立。平成20年10月に社団法人沖縄海友会（現一般社団法人沖縄海友会）により外観の補修工事が行われました。慰霊塔前広場からは、首里城や南部市街が見渡せます。

ビジターセンター

ビジターセンター内の資料館には、壕内で発見された戦争当時の遺品や、戦争関連資料が展示されています。

▲バーチャルツアーで体験してみよう！

エントランスゾーン

豊見城の絶景を背に、南国らしいゲートプロムナードを通ります。施設内にはメイン1つ、サブ2つの駐車場を完備！

遊具広場

令和5年現在、リニューアルのため一部工事中。詳しくはホームページをご確認ください。

売店

海軍壕直営売店では、海軍にまつわるグッズ、オリジナルTシャツやお土産品などを販売しております。

オリジナルグッズはこちら

お祭り広場ゾーン

地域活動の場として、お祭りや軽スポーツなどができる広々とした公園。傾斜緑地の森の小径などもあり、散策を楽しむことができます。

公園付近にも駐車場を完備！
開閉時間 / 8:00～19:00

海軍壕公園

次世代に伝える、平和の発信と交流の場づくり

旧海軍司令部壕　壕は語る・・・戦争の悲惨さと平和の尊さを

資料館で知る

資料室内には、銃器や軍服など壕内より発掘された遺品や家族へ宛てた手紙など、旧日本海軍についての資料を展示しています。

沖縄戦による戦没者数

全戦没者数 200,656名

日本側（188,136名）

- ■他都道府県出身（軍人軍属） 65,908名
- ■沖縄県出身（戦闘参加者） 56,861名
- ■沖縄県出身（軍人軍属） 28,228名
- ■一般沖縄県民（推計） 37,139名

米軍側（12,520名）

沖縄県援護課資料より

壕内はすべて「くわ」や「つるはし」を使って掘られました。上部は、旧海軍司令部壕内から出た遺品。やかんや水筒、薬ビンなどがあります。

昭和20年6月6日　20時16分

次の電文を海軍次官にお知らせ下さるよう取り計らって下さい。

沖縄県民の実情に関しては、県知事より報告されるべきですが、県にはすでに通信する力はなく、32軍（沖縄守備軍）司令部もまた通信する力がないと認められますので、私は、県知事に頼まれた訳ではありませんが、現状をそのまま見過ごすことができないので、代わって緊急にお知らせいたします。

沖縄に敵の攻撃が始って以来、陸海軍とも防衛のための戦闘に専念し、県民に関しては、ほとんどかえりみる余裕もありませんでした。しかし、私の知っている範囲では、県民は青年も壮年も全部を防衛のためかりだされ、残った老人、子供、女性のみが、相次ぐ砲爆撃で家や財産を焼かれ、わずかに体一つで、軍の作戦の支障にならない場所の小さな防空壕に避難したり、砲爆撃の下でさまよい、雨風にさらされる貧しい生活に甘んじてきました。

～中略～

沖縄の実情は言葉では形容のしようもありません。一本の木、一本の草さえすべてが焼けてしまい、食べ物も6月一杯を支えるだけということです。

沖縄県民はこのように戦いました。県民に対して後世特別のご配慮をして下さいますように。

この電文は原文を現代文に直したものです

大田實海軍少将

旧海軍司令部の司令官であった大田實少将はじめ幹部6名は、米軍の猛攻に昭和20年6月13日、壕内で最期を遂げました。大田少将が海軍次官に宛てた、沖縄県民の献身的作戦協力について訴えた電報が残っています。

慰霊之塔で祈る

日本軍の銃器と手製の槍 ▶

献花台を設置しており、献花や千羽鶴をお供えすることもできます。

平和学習

平和学習プログラムによる、講話・ガイド・ワークシート等（無料）教育旅行の受け入れをおこなっています。

プログラム名	対象	対応人数	所要時間	受入日時
ミニ講和	教育旅行 一般団体	20名～	約10分	随時（要事前予約）
平和ガイド	一般団体 個人	1～19名	約50分	毎週金曜日限定（要事前予約） ①14:30～ ②16:00～

詳細はコチラ

オンライン講話

プログラム名	対象	対応人数	所要時間	講話料金
オンライン講話 （Microsoft Teams/ZOOMアプリ対応）	教育旅行 一般団体	要調整	約1時間	11,000円 （税込）

沖縄戦全体の経緯と、旧海軍司令部壕における戦禍の状況について映像と画像を盛り込んだパワーポイント資料及び4K3Dパノラマ映像の画面を共有し、戦争の悲惨さ、平和について学べます。

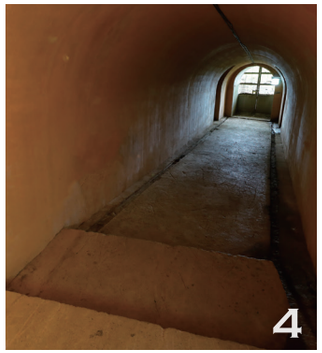
旧海軍司令部壕で体験

1944（昭和19）年日本海軍設営隊（山根部隊）によって掘られた司令部壕は、当時450mあったといわれており、現在は司令官室を中心に約300m公開されています。この壕の特徴は「つるはし」や「くわ」などを使いすべて人の手で掘られていることです。カマボコ型に掘り抜いた横穴をコンクリートと杭木で固め、米軍の艦砲射撃に耐え、持久戦を続けるための地下陣地で約4000人の兵が収容されていました。

バーチャルツアーで体験！

司令官室

司令官室の壁面には『大君の御はたのもとに死してこそ人と生まれし甲斐ぞありけり』という大田司令官の愛唱歌が鮮やかに残されています。

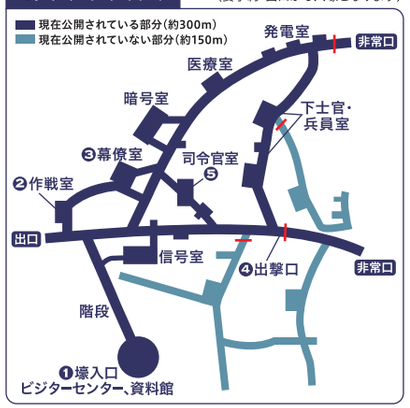


出撃口

兵士たちのほとんどは武器らしい武器もなくこの出口から出撃。大半が二度と帰ってきませんでした。

壕内案内図

※車イス等でも参観できます。（要予約：出口から入壕となります）



壕入口

105段、20mほどの階段を降りると、通路が縦横に張り巡らされた壕内へと続きます。

幕僚室

司令官室・作戦室に近いこの部屋は幕僚が手榴弾で自決した時の破片のあとが当時のままくっきりと残っています。

作戦室

壁はカマボコ型に掘られており、防護のためコンクリートで補強され漆喰で塗り固められています。

音声ガイダンス

よりわかりやすく、学びを深めることのできる「スマホガイドセット」もあります。音声付きで海軍壕を案内します。

※海軍壕受付にて販売

壕内通路

壕内は薄暗い通路が無数に張り巡らされ、迷路のようになっています。